

各位

株式会社 RS Technologies
東証プライム (3445)

ウェーハ再生事業における台湾工場の増産設備投資計画に関するお知らせ

当社は、ウェーハ再生事業を展開する連結子会社 艾爾斯半導體股份有限公司（以下、RS台湾）が、第2工場の取得を完了し、増産設備投資を開始いたしますことをお知らせいたします。

記

1.設備投資の理由

半導体市場は、IoT、AI 対応の需要拡大及びプロセスノードの微細化等技術革新により、市場規模、技術ともに急速に成長をしております。

当社グループのウェーハ再生事業は、半導体メーカー及びファウンドリから、使用済みのテストウェーハ（※）をお預かりし、再利用できるよう新品同様に再生加工をしてお戻しするビジネスを行っております。市場成長とともに顧客のテストウェーハの使用数は増加傾向であり、当社はその旺盛な需要に対応するため、増産設備投資を加速させることといたしました。特に RS 台湾の台湾工場は、半導体市場の成長をリードする台湾の最大手ファウンドリメーカーからの需要割合が大きいことから、近隣に取得した第2工場に、月産最大 30 万枚の生産能力を増強させる設備投資を行うことを決定いたしました。

また、この第2工場の立地は、現在の台湾工場に隣接していることから工場運営のラーニングカーブを縮小し、コスト低減につながると考えております。

（※テストウェーハとは、半導体製造の各工程において、最終製品となるプライムウェーハとは別に、装置調整・プロセス確認・品質評価等の目的で使用される非製品ウェーハのことです）

2.設備投資の概要

(1) 所在地	台南サイエンスパーク内（現台湾工場から徒歩 8 分）
(2) 取得施設について	総建物面積 22767.43 m ² 5階建て（元半導体関連製造工場跡地）
(3) 生産計画	2027 年度中 月産 5 万枚 2028 年度中 月産 20 万枚 2029 年度中 月産 25 万枚 2030 年度中 月産 30 万枚 市況の状況により調整する可能性があります。
(4) 操業開始予定時期	2027 年下期から量産開始予定

3. 今後の見通し

本設備投資が 2025 年 12 月期の連結業績に与える影響はありません。次年度以降の業績に与える影響につきましては必要に応じて適切に開示してまいります。

以上

<ご参考：施設写真>



【RS Technologiesについて】

RS Technologiesは、「地球環境を大切にし、世界の人々に信頼され、常に創造し挑戦する」を経営理念に掲げ事業をグローバル展開する企業グループです。当社は大手企業の一部事業をM&A（事業再生）により譲り受け、2010年に設立しました。祖業である半導体用のシリコンウェーハ再生事業では、世界シェアNo.1のトップ企業です。2018年には中国国有の非鉄金属研究機関との合併事業を開始し、ウェーハ総合メーカーとなりました。2023年にはM&A（事業再生）により再生可能エネルギー事業にも参入しました。独自の研究開発による高品質なVRFB電解液を世界中へ供給し、安心・安全なグリーンエネルギー社会の実現を目指しています。



会 社 名：株式会社 RS Technologies

代 表 者：方 永義

設 立：2010年12月10日

所 在 地：東京都品川区大井 1-47-1NT ビル

公式サイト：<https://www.rs-tec.jp/>